

第3学年1組 国語科 学習構想案

日 時 令和4年10月4日(火) 第5校時
場 所 3年1組教室
指導者 教諭 坂西 彩

1 単元構想

単元名	6 いにしへの心を受け継ぐ 夏草―「おくのほそ道」から(光村図書)		
単元の目標	(1) 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる【知識及び技能】(3)ア (2) 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。【知識及び技能】(3)イ (3) 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。【思考力・判断力・表現力等】C(1)エ (4) 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。【思考力・判断力・表現力等】B(1)イ (5) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。「学びに向かう力、人間性等」		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ((3)ア) ②長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 ((3)イ)	①「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の考えをもっている。 (C(1)エ) ②「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 (B(1)イ)	①人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。
単元終了後の生徒の姿(単元のゴールの姿・期待される姿)			
作者や作品について興味をもち、人間、社会、自然などについて進んで自分の考えをもち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている生徒。			
単元を通した学習課題(単元の中心的な学習課題)		本単元で働かせる見方・考え方	
学習した俳句の中から、自分の心に響いた俳句を選び、鑑賞文を書こう。		歴史的背景や作者の心情や状況に注意して古典を読み、今を生きる自分や自分の生活と比較することにより、作品について自分の考えをもつことができることに気付くこと。	
指導計画と評価計画(6時間取扱い 本時3/6)			
課程	時間	学習活動	評価の観点等
1	1	○文体の特徴や仮名遣いを理解し、文章を読み慣れる。 ○芭蕉の生きた時代や「旅」に対する概念を理解する。	【知①】(観察) 作者や作品について興味をもち、俳句と地の文との関係に注意しながら朗読している。 ★【思①】(ワークシート) 教科書や資料を活用し、当時の「旅」について捉え、それに対する自分の考えをもつことができる。
	1	○「1」において芭蕉の旅への思いが表現されている部分や俳句に着目し、生き方に対する作者の考えを読み取り、自分の考えをまとめる。	★【思①】(ワークシート) 現代語を手掛かりに「旅」に対する作者の思いや俳句に込められた思いに着目し、今を生きる自分と比較しながら、作者の人生観を読み取る。
	1/2 (本時)	○「2」の歴史的背景を理解し、「平泉」での作者の思いを捉え、自分の考えを表現する。	★【思①】(ワークシート) ○「平泉」において作者が感じた思いを整理し、それに対する自分の考えを具体的に表現している。 ○俳諧に込められた作者の思いをつなげ、作品を読み味わい、人の世の無常さやはかなさ、人の行いの素晴らしさを味わう。

1	○本文や P 156, 157ページに出てくる俳句から、自分の心に響く一句を選び、芭蕉の思いを踏まえながら、その理由を述べ、交流する。	【知①】(ワークシート) 古典の言葉を引用して鑑賞文を書いている。 ★【思①】(ワークシート) 本文から読み取れる芭蕉の「旅」についての考えを踏まえ、心に響く俳句について自分の考えを述べている。 【態①】(観察) 人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。
2	1	○既習の古典作品から、印象深い言葉を選び、相手と目的を明確にして、メッセージ文を書く。 【知②】(ワークシート) 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 ★【思②】(ワークシート) 自分の思いを表現するのにふさわしい文章の種類を選び、相手の状況を踏まえて構成を工夫してメッセージ文を書いている。 【態①】(ワークシート・観察) 今までの学習を生かして朗読したり、書きだそうとしている。

2 単元における系統及び生徒の実態

学習指導要領における該当箇所(内容、指導事項等)		
中学校学習指導要領第3学年 [知識・技能](3) 我が国の言語文化に関する事項 [思考力・判断力・表現力等]「B 書くこと」「C 読むこと」		
教材・題材の価値		
本単元は、中学校古典の既習の総仕上げとなる題材である。歴史的背景を踏まえ、表現の工夫などにも注意を払って、古典の世界をより深く味わうことができ、また、古典を学ぶ意義について考えを深め、今を生きる自分たちを振り返ることのできる題材である。		
本単元における系統(書くことと読むことの連続性と関係性)		
俳句の可能性・俳句を味わう ・内容や表現に着目し、俳句を評価しながら読み深める。(3年 読むこと)	夏草―「おくのほそ道」から ・文章に表れている作者のものの見方や感じ方について考える。 (3年 読むこと)	古典名句・名言集 ・古典の名句・名言を読み味わう。 (3年 読むこと)
〈既習の指導事項〉 表現の効果を考えよう (2年 書くこと)	枕草子 扇の的―「平家物語」から 仁和寺にある法師―「徒然草」から ・登場人物の言動の意味を考え、そこに表れたものの見方や考え方を捉える。 (2年 読むこと)	〈つながる指導事項〉 古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう ・相手の状況や自分の思いにふさわしい古典の言葉を選び、メッセージを贈る。 (3年 書くこと)
	蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から 今に生きる言葉 ・古典のリズムを通してその世界に親しみ、登場人物の関係や思いに着目して読む。(1年 読むこと)	

3 指導に当たっての留意点

◎研究主題 「考えをよりよく形成・共有できる授業の創造」
～生徒自らが手応えを感じることができる学習～

○「読むこと」部会のテーマ

「知識や経験を結び付けて、比較・批評して読み、自分の考えを『まとめる・広げる・深める』生徒の育成」

(1) 研究主題や部会のテーマとの関連

俳句に込められた思いを読み取るという学習において、俳句を読み取るヒントが地の文にあ

り、それを見つけることで、俳句に込められた思いを読み取ることにつながるという実感を生徒に持たせたい。また、班活動を行うことで、一人では考えることが難しい生徒も、他の生徒の意見と自分の考えを比較しながら活動し、自分の考えを広げたり深めたりすることにつながるができると考える。

苦手意識の高い古典の学習において、生徒たちが手応えを感じることができるよう工夫、働きかけを行う。また、タブレット型パソコンを効果的に活用することにより、考えをよりよく形成できるように教具の工夫も行う。また、ICTを活用し、共有する活動をスムーズに行えるようにする。

(2) 人権が尊重される授業づくりについての視点

班活動を行うことで発表された意見をそれぞれがしっかりと聞く態度を育成し、意見を尊重する雰囲気づくりに努める。また、説明や討論などの協働活動を充実させることにより、学びあう楽しさを感じ、互いに高め合うことのできる生徒の育成を目指す。

4 本時の学習

(1) 目標

地の文と俳句の響き合いに着目し、俳句に込められた芭蕉の思いを読み取ることができる。

(2) 展開

展開	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意点 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p>1 課題をつかむ。</p> <p>①既習事項の確認をする。</p> <p>②平泉の文章を音読する。</p> <p>③本時のめあてを知る。</p>	<p>○登場人物や状況、歴史的背景がわかるプリントやスライドを参考にさせる。</p> <p>○ペア読みをさせることで正しく読めるよう互いにアドバイスし合い、意欲を高める。</p>
		<p>【めあて】 地の文と俳句の言葉を比較検討し、俳句に込められた芭蕉の思いを読み取ろう。</p>	
		<p>【学習課題】 俳句の言葉に対応する地の文のキーワードを考え、班で意見交流しよう。</p>	<p>(見方・考え方を働かせて課題解決に向かう方向付け)</p> <p>○タブレット PC の発表ノートを使って活動し、意見交流の際には、ノートを共有し活動する。 (課題解決に向けた見通しをもつ手立て)</p> <p>○俳句に込められた思いを読み取るには、地の文を読み取ることが大切であることに気付かせる。</p>
展開	40分	<p>2 課題の解決に向けて活動する。</p> <p>①俳句からわかることを確認する。</p> <p>②俳句の言葉と対応する地の文のキーワードを考え、班で意見交流する。</p> <p>◇「夏草」は自然だから、北上川や金鶏山が当てはまるだろう。</p> <p>◇「兵ども」は人が入るのではないか。</p> <p>◇「夢の跡」は今残っていないもの。</p> <p>③俳句に込められた芭蕉の思いを自分なりの言葉で表す。</p> <p>◇芭蕉は「高館」から、今も残る自然を眺めている。</p> <p>◇なぜ、「涙を落としした」のだろうか。</p> <p>◇自分が芭蕉なら、涙を流すだろうか。</p>	<p>○季語・季節・切れ字などの既習事項を思い出させる。</p> <p>○「夏草」「兵ども」「夢の跡」に分けてみる。</p> <p>○地の文の中に俳句の読み取りのヒントとなる言葉があることに気付かせる。</p> <p>○場所を意識させるような切り返しの質問をすることで、「兵ども」「夢の跡」の理解を深めさせる。</p>
		<p>【期待される学びの姿】 作者や作品に興味をもち、芭蕉の思いについて班活動などで出た意見を参考に自分なりの言葉で表している姿。</p>	<p>○地の文から見つけた俳句の読み取りのヒントとなる文や言葉をもとに、文章化させる。</p> <p>○芭蕉が「高館」で何を見て何を感じたかを考える。</p> <p>○「春望」の引用、「涙を落とし侍りぬ」について考える。</p>
		<p>④意見を交流する。</p>	<p>【具体的評価規準】【思①】 ○「平泉」における作者が感じた思いを整理し、それに対する自分の考えを具体的に表現している。(ワークシート、発言)</p>
		<p>3 本時のまとめと振り返りをする。</p>	<p>(達成していない生徒への手立て)</p> <p>○現代語訳や注釈を読ませ、平泉の地図なども参考にしながら、芭蕉の考えを想像させる。</p>
		<p>3 本時のまとめと振り返りをする。</p>	<p>○めあてや課題と照らして行い、学習内容を</p>

終末	5分		まとめさせる。
		【まとめ】 「夏草や」の俳句には、人の世の無常さ、はかなさが感じられる。	
		◇個人で考えたことを班活動でしっかりと表現することができた。 ◇班活動で学んだことを、自分の考えとして書くことができた。	○振り返りは、視点を4つ提示し行う。 ①個人で考えることができたか。 ②班活動で自分の意見を言うことができたか。 ③班活動で学んだことを自分の言葉で表現することができたか。 ④今回の学習で学んだことを今後はどう生かすか。

【板書計画】

スクリーン
デジタル教科書
生徒用タブレット型パソコン画面共有

夏草夏切れ字や 兵どもが 夢の跡

地の文と俳句の言葉を比較検討し、俳句に込められた芭蕉の思いを読み取ろう

神無月四日
夏草くおくのほそ道から
松尾芭蕉

めあて

平泉・奥州藤原氏・源義経

○○○俳句に込められた思い
人の世の無常さはかなさ
自然の雄大さ・恒久

【ICT活用計画】

教師による教材提示の計画、ICTを活用した発表、まとめ等による考えの共有の計画等
①本時の導入において、平泉の様子をスクリーンに提示する。 ②課題解決に向けた活動において、発表ノートを配付し、俳句の言葉に対するキーワードを考える。 ③発表ノートをグループで共有し、意見交換する。